

一 般 質 問

寺島 道夫議員

(社民・民主・護憲クラブ)

過疎法延長による
本市への影響

問 二十二年三月末で失効する過疎地域自立促進特別措置法は六年間延長することが与野党で合意された。本市も過疎地域として、財政的なメリットが受けられるようだが、活用のための具体的な施策を聞きたい。

答 同法案が国会を通過すれば、本市は過疎地域として公示される。

過疎地域の一歩のメリットである過疎債を活用するためには、現在策定中の後期基本計画と整合した過疎地域自立促進市町村計画の策定が必要であることから、後期基本計画に掲げる施策・事業を基本に、過疎債の対象となる事業を照らし合わせながら有効に活用していきたいと考える。

過疎債を初めとする特別措置などのプラスの面を最大限活用したい。

今村 智津子議員

(公明党議員団)

子宮頸がんの
予防ワクチン

問 同ワクチンは、世界各国で大きな効果を上げており、我が国でも承認されたが、接種費用が高いため公費助成を表明する自治体が全国に広がっている。女性の健康を守ることや少子化対策を進める観点から、本市の公費助成に向けた見解を聞きたい。

答 同ワクチンは、法律上の位置づけや国の指針、ガイドライン等が示されておらず、また、本市の厳しい財政状況を考えると、市単独での実施は極めて厳しい。しかし、接種は極めて重要であるため、国に助成措置等を要望しながら重要施策として推奨していかねばならない。

国や他の自治体の動向等を注視するとともに、子宮頸がん検診とあわせた市民啓発に努めていきたい。

北岡 恭子議員

(日本共産党議員団)

公立保育所

問 公立保育所の将来展望については、いきいき子どもプランⅡ後期行動計画での検討も踏まえ、今後の役割を含め早急に検討・整理したいと答弁されていた。公立保育所を一カ所にするとの報道も聞くが、その検討経過を聞きたい。

答 公立保育所については、職員の年齢構成など今後の体制的な課題も含め運営面での厳しさも出てきているが、同計画の着実な推進においても保育現場を反映した保育サービスの向上や養護児保育へのかかわりなど、今後とも一定の役割を果たすことも期待されている。

今後のあり方については、現在、全市的な子育て支援の充実・強化を図る観点から職場と議論を深めており、いずれにしても子育て支援の充実に努めていきたい。

湯村 敏則議員

(社民・民主・護憲クラブ)

孤独死防止対策

問 地域から孤立した状態で高齢者が死亡する孤独死の対策には、地域における見守りのネットワークを機能させ、高齢者との接点づくりを政策化することが重要である。延岡市北川町の元氣なら玄関先に黄色いハンカチを取り組みは効果が出ており、モデル事業として取り組めないか。

答 本市では孤独死等の防止のため、緊急通報システム、自立支援配食サービス、近所支えあいネットなどに取り組んでいる。孤独死をなくすには、広範な方々による幾重にも重なるような見守りが大切であり、近所の見守りが強くなるような地域コミュニケーションづくりも重要な課題と思う。

黄色いハンカチの取り組みは、孤独死対策の一つとして、今後研究したい。

入江 裕二郎議員

(自由民主党議員団)

近代化遺産を活用した
三池港のにぎわい創出

問 三池港のにぎわい創出には、港周辺に点在する近代化遺産の活用が不可欠と思うが、考えを聞きたい。

答 三池港にぎわい創出事業は、同港を物流拠点としての活用のみにとどめず、港周辺に点在する近代化遺産等の地域資源と連携させることにより、にぎわいのある交流拠点としての活用を目的にしている。

また、新しい時代の近代化遺産は、今回の世界遺産候補の対象となっていないが、今後のまちづくりを考える上では、これらの近代化遺産も活用した観光政策に力を入れたい。

まずは、市民への情報発信と機運の醸成を図り、宮原坑等の世界遺産候補の活用とあわせ、点在する近代化遺産についても一体的な活用策を検討したい。